



洗練された新しいオフィスづくり

熊本イノベーションセンター

2025年3月、熊本イノベ

ーションセンター・KIC棟が竣工した。半導体関連企業の多くは先進的な設備やオフィスを構えており、KICもクラブハウの最新の事業所としてこれらに追隨できるよう、操業開始にあたって、洗練されたオフィス空間をつくることを目標とした。

また、多くの見学者も見込まれるため、来客の皆さまにも評価していただけるような空間や仕組みづくりを心掛けた。



▲ KICオフィス立上げグループ
左から山田さん（総務課）、家入さん（総務課）
中島さん（品質管理課）、高橋さん（品質管理課）
三輪さん（総務課）

【課題および検討事項】

① 従業員視点

図面やサンプル品の取り扱いが多く、以前の事務所では紙や製品が山積みになる状況があった。スマート化を推進する環境や仕組みが必要である。

また、限られた空間でコミュニケーションを取りやすいスペースの確保も必要である。

② 来客視点

視覚的に好印象を与えるために、乱雑に見えるコード類を極力見せない、統一性のない表示をしないこととする。

③ その他

全館セキュリティを配備し、全館空調による快適かつクリーンな環境を実現する。

【導入内容】

◇ デジタルサイネージ ◇

従業員に必要な情報を周知しつつ、ポスター等の掲示物が無造作に広がらないよう、デジタルサイネージを導入した。4カ所導入し、各所で異なる番組表を設定して放映できる仕組み。

活用例として、来客向けのウェルカムボードを表示させた。

◇ フリースペース ◇

業務の他、打ち合わせや休憩でも利用できるフリースペースを複数設けた。なお、什器はコンセント付きのものを選び、電源タップ・配線が目立たないようにした。

◇ 全館セキュリティ ◇

ICカード・電気錠による入室管理、カメラ・人感センサを利用した24時間遠隔警備を導入した。

その他、各会議室への大型モニター設置、電子ホワイトボードやロボット掃除機導入、工場の表示管理規定によるフォント・色調など表示ルールの統一により、スマートな印象を与える空間づくりを実施した。

【効果・今後の方針】

従業員、来客共に好印象を持つていただき、働くうえでのモチベーション向上につながっている。

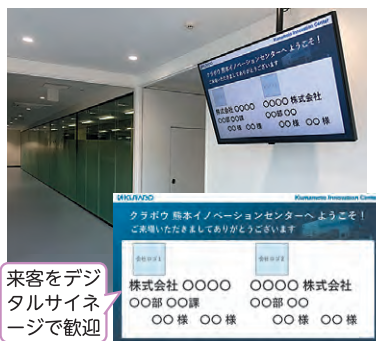
現在の環境を維持しつつ、利用者の声を聴きながらより働きやすく、先進的なオフィスづくりを継続していく。



▲ 大型モニター、電子ホワイトボードを設置した会議室



▲ フリースペースを設置



来客をデジタルサイネージで歓迎